

有機菜EN

《新城市富岡・正木努さん、早苗さん、紅葉さん(長女)、葉太くん(長男)》



野菜、米、小屋に牧場もDIY
忙しさ以上に、楽しさ200%!

新しい仲間たち

鶏小屋には、新たに仲間入りした純国産鶏・ゴトウモミジが20羽ほど。人懐こいヒナは、子どもの格好の遊び相手だ。その隣ではヤギのピッピーとポッポが「メエエ〜」と元気にご挨拶。ヤギの散歩は、努さんの癒しのひととき。

※ここで買えます

豊橋有機農業の会 朝市

毎週金曜
8:30~10:30
豊橋市山田町
字西山 11-1
フードオアシスあつみ山田店 駐車場
※豊橋市内は野菜の配達も可能(要相談)
問合せ先:masakitomjp@yahoo.co.jp

新城の山里・富岡地区で「有機菜EN」を営む正木さん夫婦。「休む間がない」と苦笑いするほど、農園の毎日とはかく忙しい。トウモロコシ、なす、スイカなど年間40種類ほどの野菜に加え、小麦、菜種、田んぼでは米も栽培する。そのすべてが無農薬・有機栽培だ。「大切にしているのは、作物が健康に育つ環境を整えること。また、葉野菜であれば若くて柔らかい、一番よい状態を届けられるよう、少しずつ時期をずらして育てています」と努さん。どんなに大変でも、みんなにおいしく食べてもらうための努力は怠らない。

3年ほど前には、ミツバチの飼育をスタート。さらに、数年かけてヒノキ林をチエーンソーで切り拓き、念願のヤギ牧場と立派な鶏小屋をDIYした。水やりに欠かせない井戸や、自宅の薪ストーブ煙突も手作りという。そんな両親を見て育つ子どもたちも、おやつには畑できゅうりをもいだり、木に登ってヤギのエサをとったりと、たくましく成長中だ。「畑を始めて13年目、ようやく野菜以外に手を付ける余裕が出てきました。作ることが大好きで、この先もやりたいことがたくさん。大人になっても、好きなものに全力で打ち込めるって素敵ですね！

何気ない収穫風景の1コマでさえ、人も野菜も生き生き輝いて見える。

土磨自然農園 横島龍磨さん

《春日井市神屋町ほか》



“ドヤ!”な主張とスッキリ後味
本能が喜ぶ“生きた”野菜づくり

畑で学ぶ



横島さんが主宰する「mirai kids program」は子どもたちが主役。種まきから収穫、販売まで一連の仕事を体験し、その売上げ金でレストランの野菜料理を味わう、本格派の農業プログラムだ。最初は土や虫に触れなかった子ども、野菜づくりを通じて畑が大好きに!

※ここで体験できます

土磨自然農園[mirai kids program]

対象:小学生を中心に応相談
開催:4~11月の隔週土曜、2時間程度
場所:春日井市神屋町123
月会費:1世帯5000円(野菜のお土産あり)
☎0568-90-1411
☎090-2948-8136
info@doma-vege.com
※ウェブサイトは「土磨自然農園」で検索
※野菜の購入も可能、要問合せ

春日井市を拠点に、年間200品目の西洋野菜を種から手がける「土磨自然農園」。畑で育つのは、赤、紫、オレンジ……と、カラフルでちよびり変わった形の野菜たちだ。フレンチ・イタリアンのシェフからは「使いたい」とオファーが絶えず、野菜嫌いの子ども、この畑のものなら不思議と食べられるという。「ドヤー!」という主張はしっかりとつつ、変なエグミがないのがうちの野菜の特徴です。子どもはおいしいものを本能で選びますからね」と園主・横島さんはニコリ。

畑では、農薬はもちろん、化学肥料や牛・鶏ふんなどの動物性堆肥も使わない。それでいて虫食いが少なく、力強い味わいの秘密は、微生物たっぷりの土だ。「作物が健康であれば、虫に食いつくされる心配はありません。また、外から肥料を持ち込まなくても、畑の雑草を土に還せば微生物が分解し、豊かな栄養に。育てるといふより、野菜自身が力強く生きるための環境を整え、手助けをする感覚です」。さらに、農業のおもしろさを知ってもらおうと、今年春にログハウスの作業小屋を完成させ、子ども向け講座「mirai kids program」をスタート。横島さんの、未来に向けた種まきが進んでいる。

「どんな味?」とワクワクをかき立てる見た目も楽しい西洋野菜たち。

